

# 北海道社会保険病院だより

平成17年5月15日 第13号

## リハビリテーション部の紹介

リハビリテーション部係長 館 博明

リハビリテーションという言葉も現在

では一般的に使われるようになり、多くの病院でもリハビリテーションが導入されています。リハビリテーションの分野では多くの職種が関わっています。当院リハビリテーション部には、理学療法士3名、鍼灸マッサージ師2名、受付事務職員1名の総勢6名で日常の業務に励んでいます。場所は入院棟3階にあります。病棟移転時に多くの最新機器を導入し、写真1のように約300㎡の広い訓練室に配置しています。また、訓練室の窓は床から天井まで全面ガラスとし、豊平川、

藻岩山、遠くは手稲山を望める美しい景色を眺めながら気持ちよくリハビリテーションを受けていただけるよう配慮しています。

当院のリハビリテーションは、物理療法室と運動療法室、心臓リハビリテーション室の3つに大きく分けてられていますので簡単に紹介します。

### 〔物理療法〕

物理療法は、電気、光線、水、さらに機械的なものなどを利用して温熱的効果など物理的な作用を利用する治療法です。あまり聞いたことがないと思いますが、当院では、ホットパック2台、パライフィン浴槽1台、過流浴槽1台などの温熱療法機器、SSP1台、低周波1台、極超短波1台、赤外線1台、超音波1台などの電気光線療法機器があります。また、機械的な作用を利用するものとしては介達牽引機器2台があります。これらの専門的治療機器と徒手的なマッサージ手技などを組み合わせ治療しています。写真2は、物理療法室の全体風景です。

### 〔運動療法〕

運動療法は、その名の通り体を動かすことにより様々な治療的アプローチを行うものです。



〈写真2〉

当院では、治療用ベッド3台、ボバーステーブル3台、平行棒2台などの基本的な器具に加えて、バイオデックス（特殊な筋力評価訓練機器）、トレッドミル（キャタピラー式の歩行・走行機器）、エルゴメーター（自転車こぎ）2台、リカンベントサイクル（腰かけ式自転車）、エアロクライム（階段昇降のような運動をする機器）、アクティブバランスサー（バランスの評価・訓練機器）など、最新の機器を取り揃えています。写真3は運動療法室全の全体風景です。

これらの機器を併用しながら、私たちの徒手による種々の機能回復訓練を中心に患者様の早期回復・早期退院を目指し

〈写真1〉





て日々努力しております。

次に、どのような疾患に対して行っているのかを平成16年度の延患者数が多い順に紹介いたします。

最も多いのは整形外科疾患です。骨折・関節疾患・脊柱疾患などほとんど全ての疾患が対象となります。主に、物理療法、関節可動域訓練、筋力訓練、起居動作訓練、歩行訓練、階段昇降訓練などを発症後（手術後）早期から積極的にを行い、段階を追って進められます。平成16年度では入院外来合わせて

延1万1000件を越える実績になっていきます。

呼吸器疾患は、様々な疾患の呼吸障害に対して、呼吸理学療法を実施しています。スクイージングなどの手技を中心として、排痰訓練、呼吸介助療法などを行います。更に、呼吸状態に合わせて早期離床を促し、歩行などの動作が可能になるような運動療法も行い、早期退院できるよう関わっています。

糖尿病代謝科では、特に2型糖尿病の患者様が対象となります。2型糖尿病の場合、食事療法と運動療法は欠かすことのできない最も重要な治療手段です。入院患者様を対象として、糖尿病教室を月2回（隔週水曜日午後4時から）を開き、運動の考え方・方法の指導と実際に簡単な柔軟体操を行って頂いています。更に、入院後運動を行うことに問題がなければ個別にも運動療法を実施しています。

対象として、糖尿病教室を月2回（隔週水曜日午後4時から）を開き、運動の考え方・方法の指導と実際に簡単な柔軟体操を行って頂いています。更に、入院後運動を行うことに問題がなければ個別にも運動療法を実施しています。トレッドミルやエルゴメーターなどの機器を使用して、運動を実際に行いながら退院後に自宅でも運動を続けられるよう患者さまと相談しながら進めていきます。

当院リハビリの特徴の一つとして、

心疾患ハビリテーションがあります。急性心筋梗塞や狭心症、心臓血管手術後の患者様に対して心臓リハビリテーションを行っています。急性期のため病棟で行うことがほとんどですが、段階を踏んで歩行や階段など安全に行うことができるよう対応しています。

もう一つの特徴は、耳鼻咽喉科疾患に多く見られる、めまいに対してめまいのリハビリテーションを行っています。耳鼻咽喉科に10日間1クールで短期入院し、その間に集中して1日3回めまいリハビリテーションプログラムを実践します。疾患や病状により異なりますが、多くの患者様は軽快して退院しています。

外科では、高齢者の外科手術後に起こりやすい肺合併症と安静臥床による筋力低下などの予防と早期離床を目的としたリハビリテーションを手術翌日から、もしくは場合により手術前から行います。また、乳癌による乳房切除術後のリハビリテーションも全例行っています。

小児科では、重度心身障害児の呼吸療法や小児肥満に対する運動療法などで必要に応じて対応しています。

その他にも、診療科を問わず安静臥床に伴う廃用症候群に対するリハビリテーションや嚥下障害に対する嚥下訓練など、多くの診療科、疾患に対して積極的に取り組み、よ

編 集 後 記

ゴールデンウィークに旅行や外出で身体に疲れを貯めていませんか？そんな時こそ病気にかかりやすいものです。十分に睡眠をとり体を癒してあげてください。

編集責任者  
事務局 佐々木憲一

北海道社会保険病院  
TEL : 011-831-5151

URL : <http://www.hok-shaho-hsp.jp/>

り患者様のお役に立てればと日々頑張っております。  
まだまだ対応の不十分な面が多く、患者様には色々ご迷惑をおかけすることもあります。何かお気づきのことがありましたらご意見・ご指導お願いいたします。  
また、リハビリテーションを受けるには、主治医の指示・依頼が必要となります。まずは主治医にご相談をお願いいたします。

